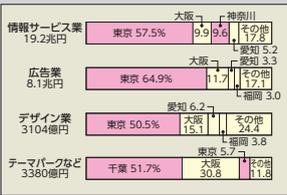


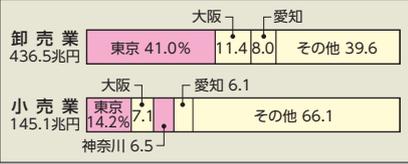
# デジタル教科書指導案／地理的分野

1. 題材 p.244-245 人口の集中と第3次産業の発達
2. 目標 (1) 商業は人口が集中する地域や交通の便がよい地域に発達することを、資料を活用しながら理解できる。  
(2) 東京大都市圏で情報サービス業や広告業が盛んな背景を多面的・多角的に考察できる。
3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業施設の立地や分布について、資料を活用しながら理解している。</li> <li>・交通網の発達に伴う小売業の変化と、それに伴う地域の課題について理解している。</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京大都市圏で情報サービス業や広告業が盛んな背景を多面的・多角的に考察している。</li> </ul>

## 4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)																
導入	<p>1. 東京ゲームショウの写真を題材にし、本時の課題をつかむ。</p> <p>2. 多くの人が集まるイベントが東京大都市圏で開かれる理由を予想し、学習課題への見通しを持つ。</p>	 <p>p.244 1</p> <p>東京ゲームショウについて知っていることを挙げてみよう。</p>  <p>合計 4936万人</p> <table border="1"> <tr> <td>宿泊・飲食サービス業</td> <td>8.5%</td> </tr> <tr> <td>商業</td> <td>21.5%</td> </tr> <tr> <td>医療・福祉</td> <td>17.1%</td> </tr> <tr> <td>運輸・郵便業</td> <td>7.0%</td> </tr> <tr> <td>教育・学習支援業</td> <td>6.8%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>39.1%</td> </tr> </table> <p>p.162 3</p> <p>人々に娯楽を提供する産業は、第何次産業に分類されるのだろうか。</p> <p>なぜ、東京大都市圏で大きなイベントが開かれるのだろうか。</p>	宿泊・飲食サービス業	8.5%	商業	21.5%	医療・福祉	17.1%	運輸・郵便業	7.0%	教育・学習支援業	6.8%	その他	39.1%	<p>○ 東京ゲームショウについて知っていることを発表させながら、本時への導入を図る。</p> <p>○ 地図帳から臨海部の再開発地域で行われていることを確認させる。</p> <p>○ イベントの企画・運営は第3次産業のサービス業に分類されることを確認させる。</p> <p>○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。</p>				
宿泊・飲食サービス業	8.5%																		
商業	21.5%																		
医療・福祉	17.1%																		
運輸・郵便業	7.0%																		
教育・学習支援業	6.8%																		
その他	39.1%																		
展開	<p>3. 東京大都市圏は、サービス業の年間売上額の割合が高いことを確認する。</p>	 <p>p.244 2</p>  <table border="1"> <tr> <td>情報サービス業</td> <td>東京 57.5%</td> <td>大阪 9.9%</td> <td>神奈川 17.8%</td> </tr> <tr> <td>広告業</td> <td>東京 64.9%</td> <td>大阪 11.7%</td> <td>神奈川 17.1%</td> </tr> <tr> <td>デザイン業</td> <td>東京 50.5%</td> <td>大阪 15.1%</td> <td>神奈川 24.4%</td> </tr> <tr> <td>テーマパークなど</td> <td>千葉 51.7%</td> <td>大阪 30.8%</td> <td>神奈川 11.8%</td> </tr> </table> <p>p.244 3</p> <p>サービス業のなかでも、どのような業種が東京大都市圏に多いのだろうか。</p> <p>なぜ、東京大都市圏ではこのような産業が盛んなのだろうか。</p>	情報サービス業	東京 57.5%	大阪 9.9%	神奈川 17.8%	広告業	東京 64.9%	大阪 11.7%	神奈川 17.1%	デザイン業	東京 50.5%	大阪 15.1%	神奈川 24.4%	テーマパークなど	千葉 51.7%	大阪 30.8%	神奈川 11.8%	<p>○ 情報サービス業の例として、ゲームの制作会社の様子を提示する。</p> <p>○ 学習プリントを活用し、東京、千葉、神奈川の割合が高いことを理解させる。</p> <p>◆ 東京大都市圏で情報サービス業やICT関連産業、広告業が盛んな理由を多面的・多角的に考察させる。</p>
情報サービス業	東京 57.5%	大阪 9.9%	神奈川 17.8%																
広告業	東京 64.9%	大阪 11.7%	神奈川 17.1%																
デザイン業	東京 50.5%	大阪 15.1%	神奈川 24.4%																
テーマパークなど	千葉 51.7%	大阪 30.8%	神奈川 11.8%																
<p>学習課題：人口が集中する地域で発達する産業には、どのような特色があるのだろうか。</p>																			

<p>4. 大都市圏で商業が盛んな理由を考察する。</p> <p>5. アウトレットモールと大型ショッピングセンターの立地を例に、小売業が盛んな場所の特色を考察する。</p>	 <p>卸売業 436.5兆円 東京 41.0% 大阪 11.4 愛知 8.0 その他 39.6</p> <p>小売業 145.1兆円 東京 14.2% 大阪 7.1 愛知 6.1 神奈川 6.5 その他 66.1</p> <p>p.245 8</p> <p>東京大都市圏では、なぜ商業が盛んなのだろうか。</p>   <p>地図帳 p.130 ⑤ p.245 7</p> <p>アウトレットモールや大型ショッピングセンターは、どのような場所に立地しているのだろうか。</p> <p>大型店が進出した地域では、どのような課題があるのだろうか。</p>	<p>○ 資料から、商業の盛んな都道府県を読み取らせる。</p> <p>◆ 卸売業は三大都市圏の合計で全国の約6割を占めていることに気付かせる。</p> <p>○ 小売業と卸売業の違いを理解させる。</p> <p>○ 地図から、大型の商業施設の分布の特色を読み取らせる。</p> <p>◆ アウトレットモールは高速道路沿いに、大型ショッピングセンターは鉄道沿線に多く立地していることに気付かせる。</p> <p>○ 地図帳を活用し、物流倉庫の立地についても紹介する。</p> <p>◆ 交通網の発達に伴う小売業の変化や地域の課題について考察させる。</p>
	<p>6. 本時のまとめをする。</p> <p>7. 学習課題への振り返りの活動を行う。</p>	<p>サービス業や商業が発達する理由を、人口の集中と関連させながら説明しよう。</p> <p>「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。</p>